私たちは毎年「株式会社 北海道アルバイト情報社様」「エフエムしろいし様」とコラボレーションをし、ミュージックビデオを制作する「オトキタプロジェクト」というものを行っています。

今年度の前期、札幌を中心に活動するアーティスト「小林初乃(こばやしその)様」に お声がけをし、制作を行いました。

制作のスケジュールはこのようになっています。2018年5月中旬にアーティストとの打ち合わせをし、楽曲についての質疑応答。7月中旬に完成し、札幌地下歩行空間北2条広場にて、約1ヶ月間放映されました。

5月16日、「小林様」「北海道アルバイト情報社様」と共に打ち合わせを行い、楽曲の制作背景から歌詞の意味など、たくさんの質問が飛び交いました。テーマは「したたかな感情の開放」。小林様から直筆の絵コンテを頂き、企画、絵コンテ制作を行いました。

企画が決定し、企画を元に撮影スケジュールや撮影内容、小道具などを決定しました。 今回のオトキタプロジェクトは、予算の制約があり、ロケ地や小道具でかかる費用をいか に抑えるかが重要になりました。そこで、学校にすでにあるものを活用したり、小道具で 使用するバラを、赤い布を使ってかさ増しをするなどしました。

そして撮影当日。何日かに分けて撮影を行ったのですが、ほとんどの日程で天候に恵まれず、雨の日ばかりでした。機材の保護、出演者の対応、企画の変更など、その場での対応能力が求められました。急遽、ゴミ袋を買い、機材をガードしたり、もともと企画に無かった、水たまりや雨を逆手に取り、映像の中のアクセントとして活用しました。また学校内での撮影では、事前準備をしっかり行うことで、スムーズに撮影を進めることができました。

撮影風景がこちらです。外と学校内での撮影では、出演者・スタッフ共に息を合わせながら撮影をし、無事に全ての撮影を時間内に終えることができました。今回のミュージックビデオの見所は、絵の具を使用したシーンです。小林様から「顔に直接絵の具をつけたい」という要望がありましたが、撮り直す可能性を考え、「アクリル板を使用し絵の具をつける」という結論に至り、何度もリハーサルを重ねました。その成果もあり、本番ではスタッフ・出演者、全員の力を合わせ、大成功に収めることができました。

また8月28日には、オトキタ Presents Sapporo*north2LIVE(サッポロノース2ライブ)にて、小林初乃(こばやしその)様と共にミュージックビデオ制作の裏側などを語るトークライブを行いました。緊張してうまく話すことができませんでしたが、とても貴重な体験となりました。ここで完成した映像をダイジェストでお見せします。

いかがでしたでしょうか。今回のミュージックビデオ制作で学んだことは、物事を多角的 な視点で捉える力。創意工夫をして積極的に取り組む姿勢。映像でコンセプトやテーマを 表現することのやりがい。実際にたくさんの人に見ていただくという達成感を学びました。今回プロジェクトのお話をくださった、「北海道アルバイト情報社様」「エフエムしろいし様」、快く私たちとタッグを組んでくださった、小林初乃(こばやしその)様、指導をしてくださった講師の先生方に改めてお礼を申し上げます。誠にありがとうございました。以上で、プレゼンテーションを終了いたします。ご清聴ありがとうございました。